

米国カリフォルニア州 高温が生食用ブドウの出荷開始に影響か

[FreshPlaza](#) 2024年7月3日

極端な高温がサンホアキン地域の生食用ブドウ出荷シーズンの開始に影響を与える可能性

生食用ブドウ業界は、メキシコのソラ州産から、多くの生産者が来週収穫を開始するサンホアキンバレー中部地域(カリフォルニア州)の産物への移行を準備している。しかし、極端な気温を伴う熱波は、シーズンの序盤に影響を与える可能性がある。ダイレクトソース・マーケティング社のアイラ・グリーンスタイン氏は、「葉が少ない新しい園地では損傷を受けるリスクが高く、生産者はまた水の制約にも対処する必要がある。洪水灌漑ができる生産者はほとんどいない」と言う。

気温は華氏110度(43℃)を超え、ほぼ2週間の間、日々の最高気温に近い高温が続くと予想されている。あたかも、カリフォルニア州の生産者らは、この極端な天候に慣れる必要があるかのようである。ライセンス制の新しいブドウ品種がこの熱波にどのように反応するかを見るのは興味深いことである。同氏は、「生産者らは、まだ新しい品種の管理方法を学んでいる最中であり、長引く熱波への対応はそれぞれ異なるだろう」と話す。

メキシコからは引き続き安定した供給が見込まれるが、品質や状態は品種によって異なる。グリーンスタイン氏は、「もし、残りのメキシコ産よりも品質が良ければ、多くの小売業者は7月15日までにカリフォルニア州産に切り替えようとするだろう」と述べた。

種無し赤ブドウ

メキシコ産の「通常」品種のフレームと、同国産のライセンス品種の間では引き続き市場が分かれており、これら2つの間にはほぼ6.00ドル/箱の価格の開きがある。メキシコ産フレーム・シードレスは14.95~16.95ドルで取引されているが、量と状態は急速に下降しており、品質の良い果実の入手は難しくなっている。かなりの量のスイートセレブレーション品種を扱っている業者らは、20.95~22.95ドルの範囲のより良い価格を維持しており、パッションファイア品種は大部分が18.95ドルで販売されている。カリフォルニア州アービン地域の生産者らは、7月の第2週までに収穫作業を開始することを望んでいるが、極端な高温により、畑での作業時間が制限され、糖度の上昇も遅れている。その結果、スポット市場は今後3週間ですべての種無し赤ブドウ品種で価格が上昇し始めると予想され、アービン地域では出始めのフレーム品種で24.95~26.95ドルの出荷価格が予想されている。

種無し白(緑)ブドウ

今後3週間で、メキシコ産白ブドウ品種の取扱は減少すると予想される。しかし、カリフォルニア州への移行を容易にするのに十分なだけの供給量はまだある。一部の小売業者はスグラオーネ品種から離れ、ティムソン、アイボリー、スイートグローブといった品種の需要が高まっている。これにより、スグラオーネは16.95~18.95ドル、ライセンス制の品種は22.95~24.95ドルで取引される分割された市場が形成された。グリーンスタイン氏は、「スグラオーネは品質が非常に良いので、特定の品種にこだわらない者には依然として価値がある」との考えを述べている。カリフォルニア州の生産者は猛暑のため出荷の開始が遅くなるが、7月15日まではかなりの量のアイボリーとバレーパールが収穫されると見られる。それまでは、流通段階で品切れを起こさないように、十分な量のメキシコ産種なし白ブドウを確保する必要がある。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)